

## 【温暖化対策の推進】

### 4. ストップ温暖化プロジェクト

#### 4-1 かさまの森林(もり)推進

〈ねらい〉 本市に所在する森林を対象に、市民・事業者と協働により植林や間伐等の森林整備を行うことで、森林の伐採と再生のサイクルを促進し、二酸化炭素吸収量の多い森林を形成します。また、森林整備を通して環境教育・自然体験を行い、市の自然環境に対する保全意識の醸成を図ります。

〈実施事業〉 かさまの森林（もり）を元気にしよう！

取組指標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	令和3年度
森林・里山保全活動への参加人数	1,045人	822人	1,050人	591人

#### 実施内容

森林吸収源としての機能をはじめ、水源かん養機能や国土保全機能など多様な公益的機能を担う森林の役割や重要性について周知を図り、地場産材の積極的な利用や里山保全活動に積極的に参加・協力するよう呼びかけます。また、里山づくりや森づくりに努めます。

●カスミ主催の植樹祭（会場：愛宕山）は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。

●緑の少年団活動（市内4団体）591人

団体活動を支援し、森林・林業体験キャンプ、里山体験学習及び花壇づくり等を行いました。

（稲田小学校わがくに緑の少年団214人、友部緑の少年団25人、北川根小学校緑の少年団260人、岩間第一小学校あたご緑の少年団92人）

#### 〈評価・課題〉

森林資源の活用促進として、緑の少年団活動等を支援し、森林の有する公益的機能の理解促進と自然環境保護に対する意識の高揚を図りました。

一方、森林機能維持のために必要な伐採等の維持管理が、地権者の実情により計画的に進まない状況があります。

第1章の関連する施策：森林の育成・活用(P3.4)

## 4-2 環境にやさしい交通推進

〈ねらい〉 公共交通利用や徒歩、自転車による移動がしやすい環境を整備することで、環境負荷が小さい交通利用を推進し、市内における運輸・移動による二酸化炭素や大気汚染物質の排出量の低減を図ります。

〈実施事業〉 公共交通や自転車を活用しよう！

取組指標	現状(H29)	中期(R2)	長期(R7)	令和3年度
ノーマイカーウィーク 実施回数	2回	1回	2回	2回

取組指標	現状(R2)	長期(R7)	令和3年度
レンタサイクル・ シェアサイクル利用台数	延べ1,548台	延べ6,000台	延べ2,549台

### 実施内容

過剰なマイカー利用がもたらす地球温暖化問題についての意識の高揚を図るため、ノーマイカーウィークを実施します。通勤、通学、買物等でマイカーの利用を控え、鉄道・バスなどの公共交通や自転車を利用するなど、環境にやさしい移動の取り組みを促進します。

観光客に対して、温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)排出量の削減を目指したレンタサイクルやシェアサイクルなどの活用を推進します。

#### ●ノーマイカーウィーク

- ・6月1日(水)～6月7日(火)

参加者延べ人数 5,159人

うち実施延べ人数 1,104人

- ・12月20日(日)～12月26日(土)

参加者延べ人数 5,257人

うち実施延べ人数 1,103人

#### ●レンタサイクルの利用台数

延べ利用台数 1,618台

#### ●シェアサイクルの利用

市内5カ所の公共拠点(友部駅、道の駅かさま、笠間駅、笠間工芸の丘、かさま歴史交流館井筒屋)にサイクルポートを設置し9月16日から運営を開始しました。

延べ利用台数 931台

### ●グリーンスローモビリティ実証実験

市民の日常生活における利用及び観光客の周遊性を向上する新たなモビリティの一つとしてグリーンスローモビリティ（低速電動カート）の導入を検討するため、「道の駅かさま」のオープンに合わせた運行、「笠間の菊まつり」期間に合わせた運行、市民の日常生活の移動手段として友部駅前及び旭台団地における実証実験を行いました。

利用人数 844人

### <評価・課題>

ノーマイカーウィーク期間中、ノーマイカーを実践できたのは参加者の2割程度の結果となりました。公共交通や自転車での通勤が困難なマイカー通勤者にはできることから実践するよう促進していきます。

シェアサイクルは、5ヶ所のサイクルポートのうち道の駅かさま発着の利用が最も多く、パーク&サイクルライドによる市内周遊への活用が図られています。今後も運営状況を見ながらサイクルポートの増設や自転車の増車を検討し、利用促進を進めていきます。

グリーンスローモビリティは乗り心地もよく、観光や買い物の移動手段としての利用意向は高いものの、低速運行による不便さや荒天時は運行できないこと、運行事業としての採算性などの課題もあり、引き続き市内公共交通の再編も視野に入れた検証を進めていきます。

第1章の関連する施策:スマートムーブ(自動車利用の抑制)(P24、25), 広域連携による取組の推進(P30)

### 4-3 市民の主体的な温暖化対策促進

〈ねらい〉 省エネの取組や電力消費量の「見える化」など、家庭において日常生活のなかで実践できる地球温暖化対策について紹介するとともに、参加型の取り組みを実践したり、インセンティブ（意欲の刺激）を付加したりすることにより、活動の促進を図ります。

〈実施事業〉 CO<sub>2</sub>削減エコライフチャレンジに参加しよう！

取組指標	現状(H29)	中期(R2)	長期(R7)	令和3年度
エコチャレンジ 市内参加人数	354人	603人	700人	456人

#### 実施内容

家庭での節電により、どれだけ二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を減らすことができるかを競う取組を県央地域9市町村で同時に実施します。

- 家庭における電気の使用量の削減に努めるため、令和3年10月の家庭の電気使用量と令和2年同月とを比較し、昨年度比で電気量を削減する取り組みを意識的に行うため実施しました。

取組期間：10月から11月の2か月間

#### 〈評価・課題〉

節電など、できることから始めることが、地球温暖化防止に繋がることから、学校などを通じて、各家庭の参加を促していますが、一般の参加者が少なく、更なる周知が必要となります。

気軽にできる地球温暖化防止対策の一つとして、節電に取り組む家庭が増加するよう促進していきます。

第1章の関連する施策：家庭や学校における地球温暖化対策の普及促進(P24)、広域連携による取組の推進(P30)

## 【環境教育・学習・活動の促進】

### 5. 環境学習・環境保全活動促進プロジェクト

#### 5-1 主体的な環境教育促進

〈ねらい〉 子ども達が自ら環境保全に関する課題を発見し、対策を検討し、自ら取り組みを行う主体的な環境教育の実施を通して、身近な環境に関心を持ち問題意識を持つとともに主体性を養う。

〈実施事業〉 涸沼川・巴川を探検しよう！

取組指標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	令和3年度
参加者数	27人	35人	100人	中止

#### 実施内容

クリーンアップひぬまネットワークや霞ヶ浦問題協議会等で開催する各探検隊に参加して河川の環境問題について勉強します。

##### ①涸沼川探検隊

新型コロナウイルス感染症の影響により中止としました。

##### ②巴川探検隊

新型コロナウイルス感染症の影響により中止としました。

#### 〈評価・課題〉

涸沼川探検隊は、13名の申し込みがありましたが、国の蔓延防止措置の適用を受けたことから中止としました。

巴川探検隊については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止としました。

毎年、夏休み期間中に実施している野外での活動のため、熱中症など子ども達の体調管理に留意するとともに、新型コロナウイルス感染症の対策を取りながら、今後も子ども達が主体的に参加できるような体験学習を実施します。

第1章の関連する施策:水辺の保全意識の高揚(P2)、学校等における環境学習の推進(P29)、体験型学習機会の充実(P29)

## 5-2 市民環境学習促進

〈ねらい〉 子どもから大人までを対象に、身近な環境から地球規模の環境問題まで幅広く環境について、学び体験する機会を提供するとともに、環境に対して関心をもち、主体的に環境保全活動に取り組む意識の醸成を図ります。

〈実施事業〉 環境寺子屋に行こう！

取組指標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	令和3年度
開催回数	—	4回	6回	8回

### 実施内容

地域の環境資源を活用し、講師による市民参加型の「環境寺子屋」を開催します。

#### ①「こどもエコ教室」

ゼロカーボンシティを目指して私たちの未来をかえよう！

令和3年7月31日（日） 参加者11名

会場：地域交流センターともべ「トモア」

講師：いばらきエコの会

岸 倫男氏、中田 有美氏

内容：SDGsと地球温暖化について

ゼロカーボンって何？

雲をつくる（実験）

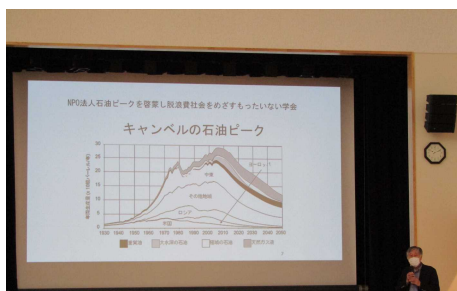
地球温暖化の原因やゼロカーボンについて学び、未来のために一人ひとりができることを考えました。



## ②講演会「みんなでエネルギーを考えよう」

令和4年3月6日（日） 参加者37名  
 会場：地域交流センターともべ「トモア」マルチホール  
 講師：NPO法人 もったいない学会 会長 大久保 泰邦氏  
 内容：エネルギーについて

エネルギー資源としてピークを迎えつつある石油の次には、地産地消出来る資源を活用することが必要であるなど、エネルギー問題について講演いただきました。



## ③「環境教育人形劇」

演者：人形劇団京芸  
 作品：エコシアターあおぞらげきじょう（3本立・約45分）  
 ～リサイクルパペットシアター・すすめゼンゴ！・エコうさぎとエコかめ～

開催日	場所	参加者
令和3年10月4日（月）	笠間小学校体育館	106名（2学年4クラス）
令和3年10月5日（火）	岩間第二小学校体育館	17名（2学年1クラス）
令和3年11月6日（土）	福ちゃんの森公園	87名（午前46名、午後41名）
令和4年1月15日（土）	笠間市児童館	54名（午前29名、午後25名）
令和4年2月2日（水）	宍戸小学校体育館	中止（新型コロナウイルス感染症の影響）
令和4年2月2日（水）	みなみ学園義務教育学校	中止（新型コロナウイルス感染症の影響）
令和4年2月26日（土）	地域交流センターいわま「アゴ」	中止（新型コロナウイルス感染症の影響）
令和4年3月10日（木）	友部第二小学校体育館	91名（2学年3クラス）

小学校2学年を対象とし、市内小学校に希望調査したところ、5校から観劇希望がありました。2校は新型コロナウイルス感染症の影響により中止としました。

また、親子向けとして市内3カ所で開催を予定しましたが、地域交流センターいわまでの開催は中止としました。

人形たちのかわいらしい動きや軽快な音楽で、楽しみながら、節電、フードロスやリサイクルについて学ぶことができ、子どもたちから、「家でも節電をする」「食べ残しはしないようにする」などの意見が聞けました。小学校からは、次年度もまた観劇を希望したいとの声をいただきました。



#### ④「第5回笠間市こども理科自由研究プレゼン大会」

11月7日（日）

参加者：11作品17名 62名

会場：岩間第一小学校体育館

市内小学生が、夏休みに行う理科自由研究について、多くの人の前でプレゼンテーションをする機会を設けることにより、「主体的な取組意欲」や「伝える力」などを育むことを目的として、市民団体（かさま環境を考える会ごみを考える会）が中心となり、開催しました。子ども達が主役となり楽しく開催することができました。



#### <評価・課題>

子どもから大人までを対象に、環境について学ぶ機会や発表する機会を提供することができました。環境寺子屋を開催し、主体的に環境保全活動に取り組む意識の醸成を図ることができました。

第1章の関連する施策：地球温暖化に対する理解促進(P24)、市民・事業者への環境学習の促進(P29)



### 5-3 市民環境活動促進

〈ねらい〉 情報提供や活動内容、成果披露の場の提供、実施体制の強化など、市民・事業者が行う環境保全活動に対して支援を行うことで、各主体が環境保全活動を行う環境を整備し、その取組促進を図ります。

〈実施事業〉 笠間市環境サポーター制度の創設

取組指標	現状(R2)	長期(R7)	令和3年度
サポーター登録数	0人	600人	89人

#### 実施内容

環境保全活動に賛同する市民に、環境サポーターとして登録してもらい、市の環境活動の周知、サポーターからの主体的活動の情報提供、市の環境保全活動の活性化を図ります。

令和3年8月24日に環境保全課公式フェイスブックを開設し、市のさまざまな環境情報を発信するとともに、市の広報担当と記事内容をお互いに共有しながら、広報活動に努めました。

また、環境サポーターの登録を促進するために、環境教育学習等の参加者へチラシを配付しました。

記事投稿件数：29件

市広報との共有件数：11件

#### 〈評価・課題〉

環境サポーターとして登録してもらえるよう、市に関わる環境情報だけでなく、市民のためになるような情報も発信していく必要があると考えます。

第1章の関連する施策：地域コミュニティ活動の促進(P30)、市民・事業者の環境保全活動の支援(P30)